

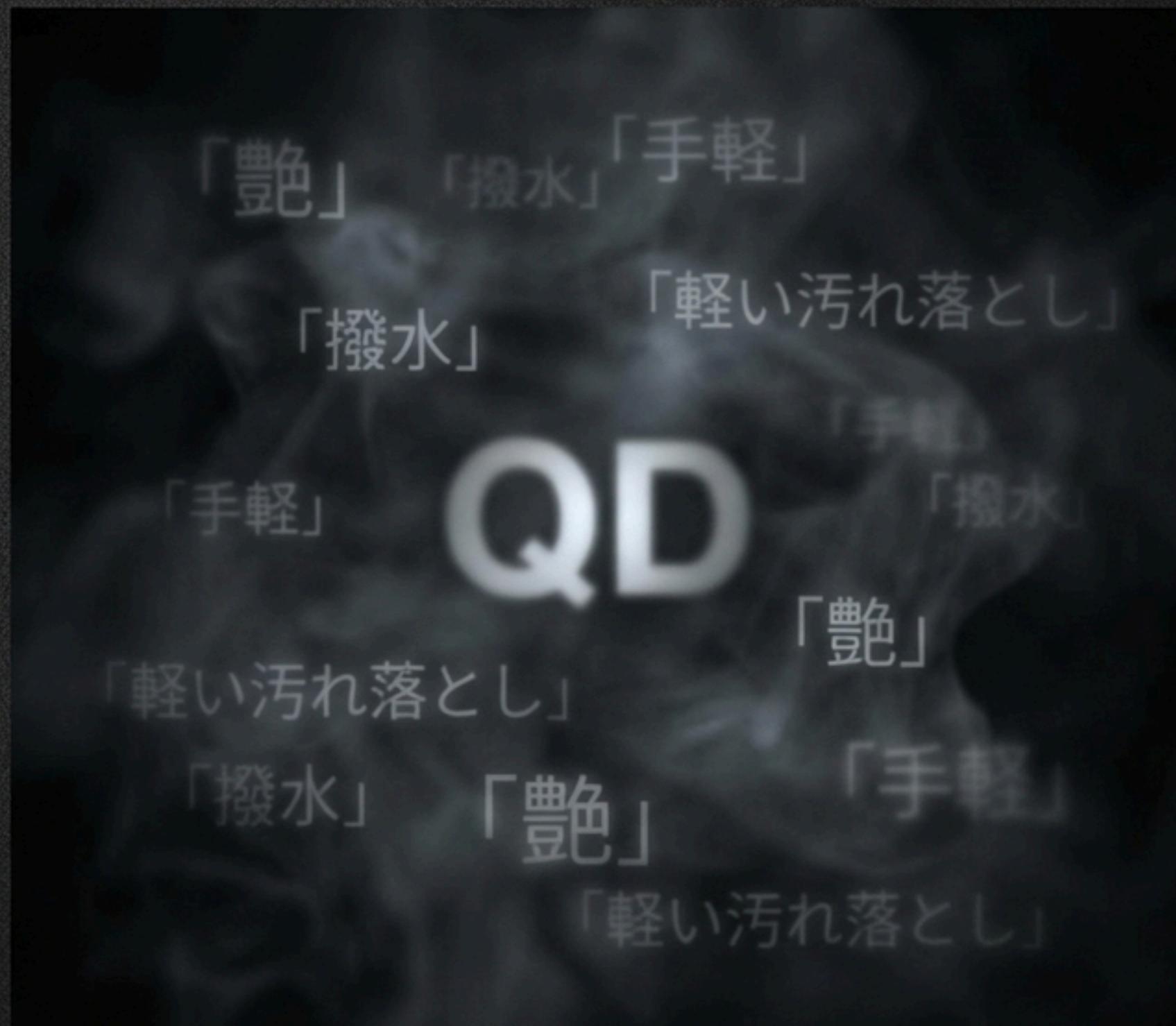
# MODEL247 | 塗装管理のパラダイムシフト

足し算のケアから、引き算の強化へ。



ようこそ、本職の世界へ。





## 問い：「QD」と聞いて、何を思い浮かべますか？

- 「艶出し」「撥水の演出」「軽い汚れ落とし」…世間のQDは、その枠の中にあります。
- しかし、その手軽さと引き換えに、塗装の地盤が気づかぬうちに削られていく現実がある。
- ここで断言します。MODEL247は、それら通常のQDの枠の【完全なる外側】に存在する製品です。



## これまでの常識：「犠牲被膜」 というプラスの世界

- 塗装の上に成分を「重ねて、蓄積させていく」ことで守る思想。
- 比喻：「ワセリン」的運用。
- メリット：厚みによる物理的な短期防御力は高い。過酷な環境では有効な選択肢。
- デメリット：その厚みが環境次第で「癖」となり、汚れが固着する起点（トリガー）を自ら作り出してしまうリスクを内包する。





## 新しい常識：「犠牲被膜レス」 というマイナスの世界

- 塗装面に成分を極力「残さない（蓄積させていかない）」ことで、塗装本来の性能を引き出す思想。
- 比喻：「化粧水」的運用。
- 厚みで守るのではなく、汚れの足場（トリガー）となる余計な要素を徹底的に排除する。
- 代謝を促すように塗装を整え、汚れが居座れない「滑らかな状態」を維持する。





# 守り方の選択：短期防御か、長期安定か

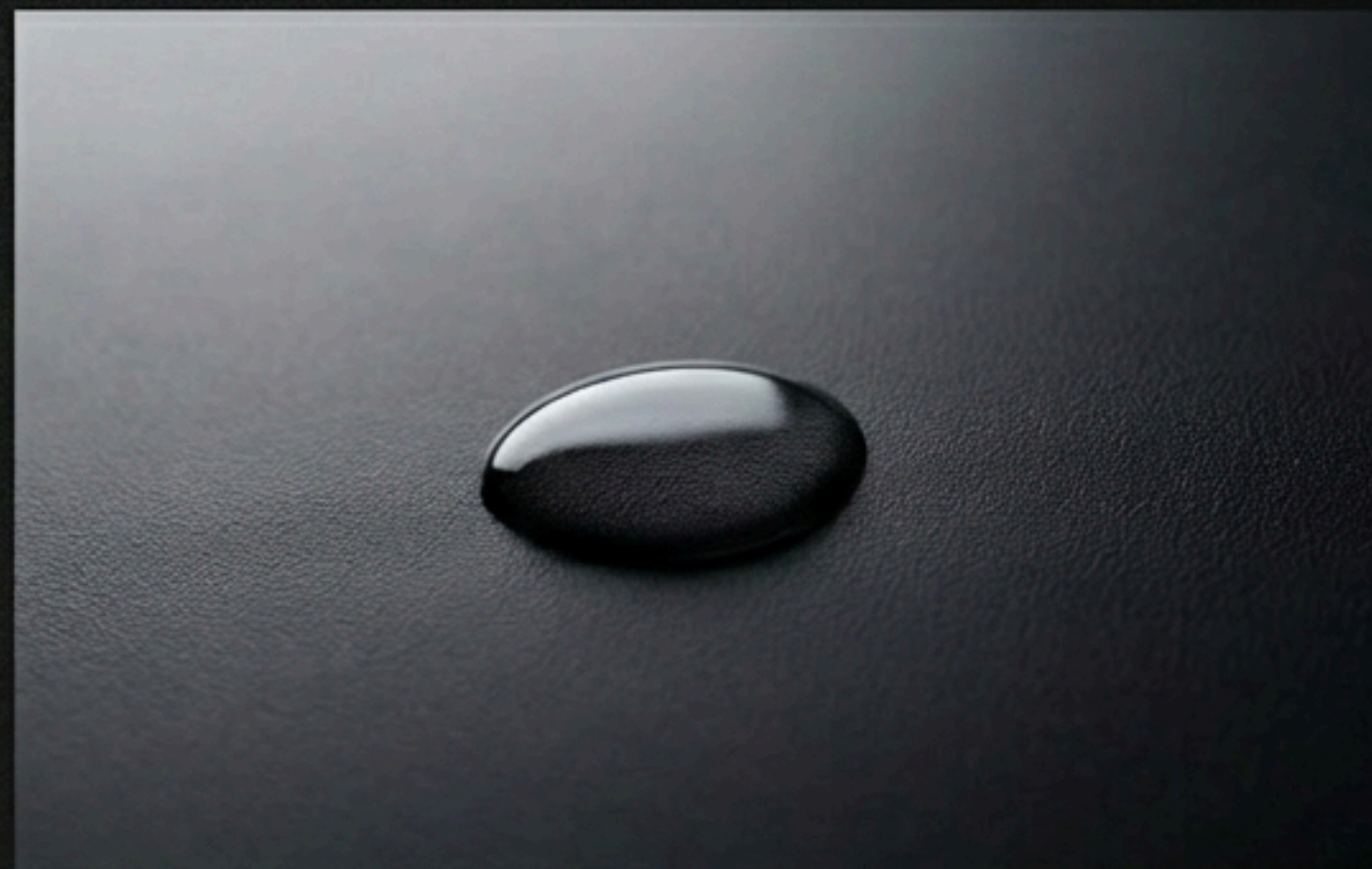


## 犠牲被膜路線（プラス）

思想：蓄積させて守る

強み：短期の物理防御

弱み：汚れの起点（トリガー）になりやすい



## 犠牲被膜レス路線（マイナス）

思想：残さず整える

強み：長期的な管理の容易さ

弱み：厚みによる物理防御はない

カーディティリングは、この2路線を適材適所で使い分ける「アジャストゲーム」です。

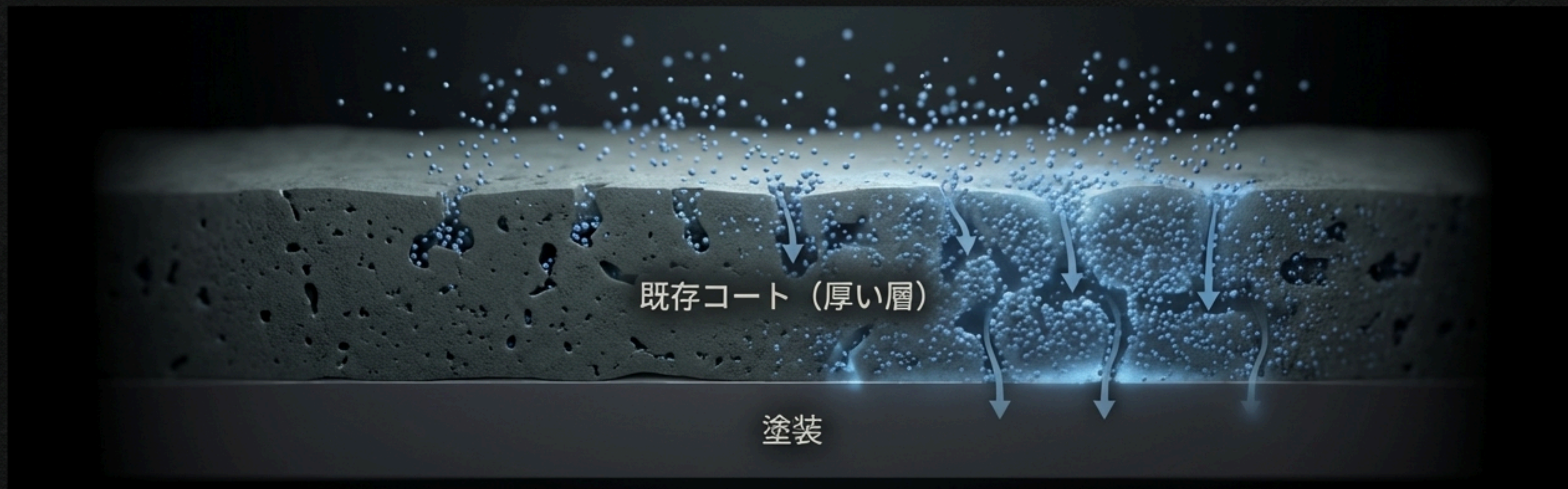


# プラスとマイナスを掛け合わせる「第3の道」

- ・ 現在のコーティング（プラス）を捨てる必要はありません。
- ・ 既存の犠牲被膜にMODEL247（マイナス）を加えることで、  
「厚みで守りながら、内側から整える」最強の防汚性が生まれます。

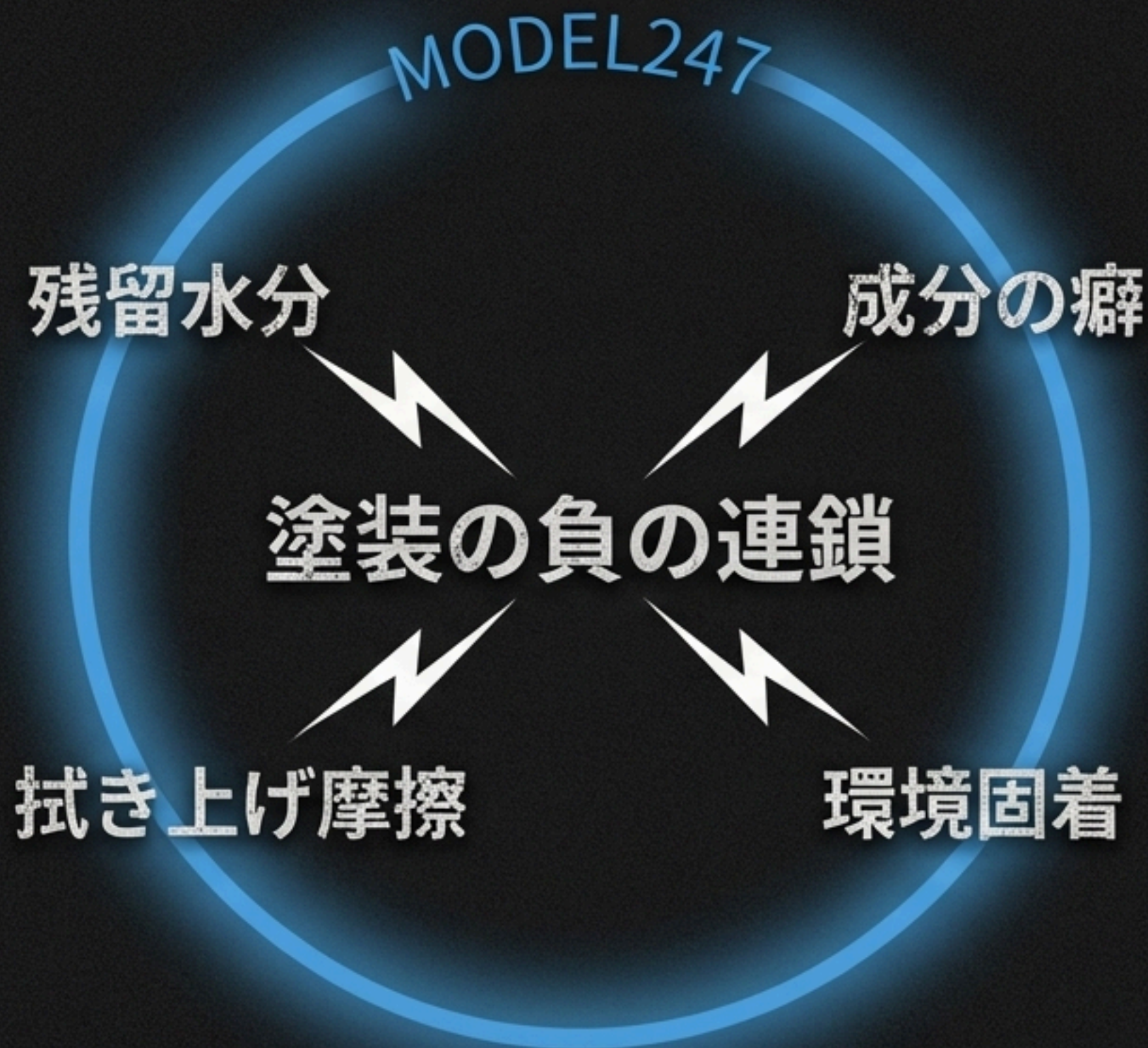
不可逆のルール：

反対となる犠牲被膜レス路線へは  
犠牲被膜路線を加えることは出来ません





## なぜQDの枠を超えたのか？：塗装が壊れる「負の連鎖」



塗装が壊れる原因は、単一ではありません。  
洗浄、水分、残留物、摩擦、環境要因...  
これらが連鎖して起こります。

「艶出し」「撥水」といった単一の目的では、  
この「**負の連鎖**」は断ち切れません。

MODEL247は、「メンテナンスが効く状態  
を維持する」という一つの目的のために、  
洗浄から仕上げまで**11の役割**を包括的に担  
います。



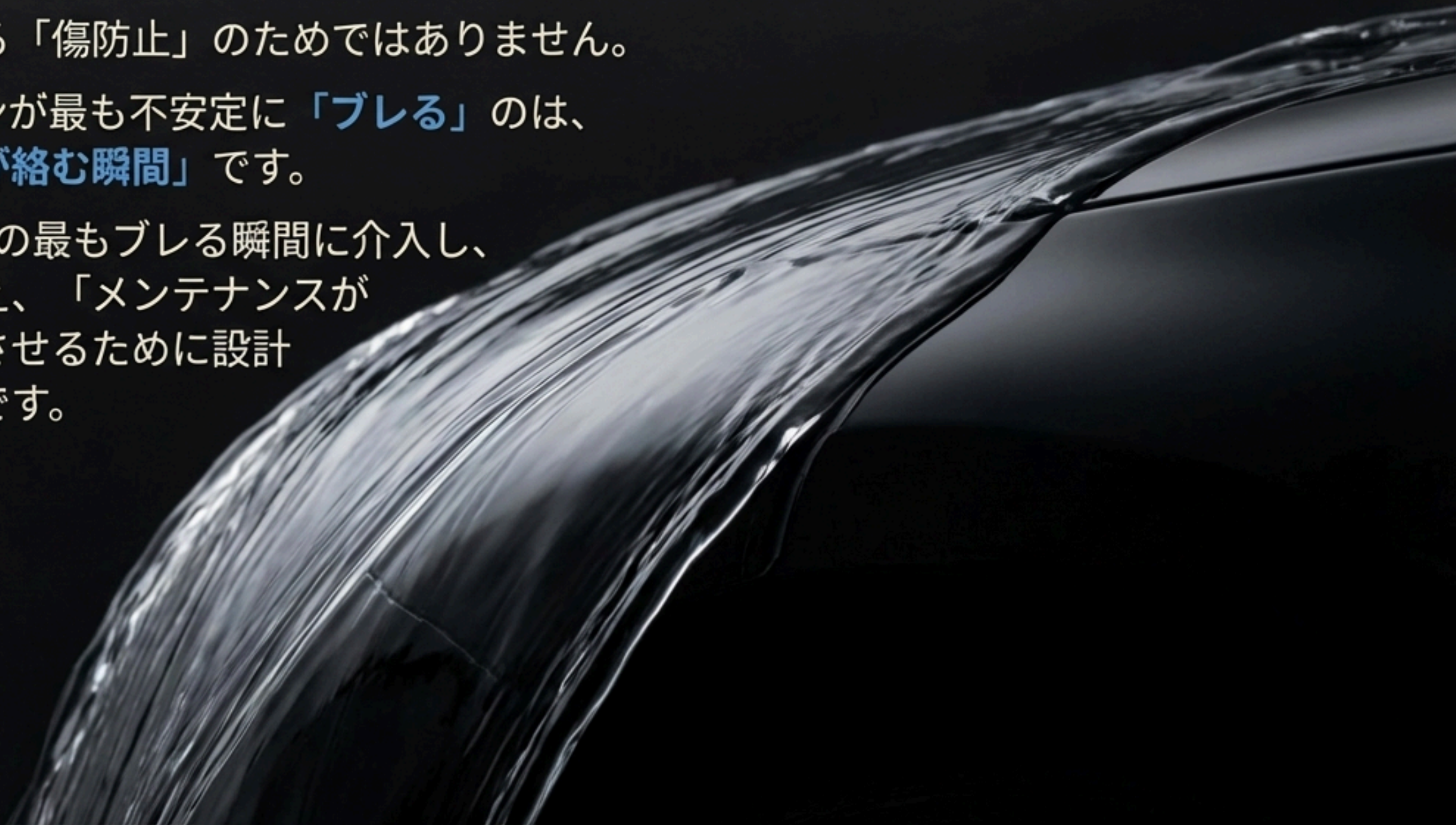
# 塗装を壊さないための「11の仕事」

- 1. 洗浄後のならし:**  
洗車直後の不安定な塗装面を落ち着かせる。
- 2. 癖の抑制:**  
汚れの起点となり得る要素を増やしにくい方向へ戻す。
- 3. 拭き上げの質向上:**  
「乾かす」作業を「整える」作業へ変える。
- 4. 次工程の安定化:**  
オーバーコート剤等がムラなく効く土台を作る。
- 5. 仕上がりの下支え:**  
見た目を盛るのではなく、崩れにくい状態を維持する。
- 6. 日常のくすみ除去:**  
「洗ったのにスッキリしない」状態をリセットする。
- 7. メンテ性の維持:**  
メンテナンスが効かなくなる方向へ行かないよう補正する。
- 8. 過剰施工の防止:**  
“足しすぎて壊す”リスクを低減する。
- 9. 戻りの質向上:**  
いつもの洗車で、いつもの状態に戻る「再現性」を高める。
- 10. 年単位での差:**  
塗装を疲せさせる強いリセットの必要性を減らす。
- 11. 接触回数削減:**  
結果として「触らなくて良い時間」を増やす。



# 水を制する者は、塗装を制する

- ・ 湿式施工は、単なる「傷防止」のためではありません。
- ・ 塗装コンディションが最も不安定に「**ブレる**」のは、洗車や雨など「**水が絡む瞬間**」です。
- ・ **MODEL247**は、その最もブレる瞬間に介入し、水と共に塗装を整え、「メンテナンスが効く状態」で着地させるために設計された湿式専用品です。





# 1000mlが「最小単位」である理由

- ・ お試しサイズがないのは、これが一瞬の魔法ではなく、毎日使う「**ライフライン（水と空気）**」だからです。
- ・ これは年単位で塗装のコンディションを評価する製品。1年間使い続けて、初めて見える「**塗装密度の答え**」があります。
- ・ その性能を100%引き出すには、水の挙動を制御するために設計された**指定クロス（UltraWick Cloth）**の使用が不可欠です。





# 盛るより、整えろ。

派手な演出よりも、地味でも確実な塗装の「健康」を。

これまでの「プラス（蓄積）」のケアに、MODEL247の「マイナス（整える）」という視点を加えてください。

1年後の愛車の肌で、答え合わせをしましょう。

